

NTT DATA

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月6日 株式会社NTTデータグループ

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTTデータグループの中山でございます。

本日はお忙しいところ、決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

INDEX

1. 2025年3月期 第3四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
4. 全社共通取り組みの状況
5. 巻末資料 -決算・業績予想値の詳細-

ご注意

※ 本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※ 本資料に掲載されているサービス及び商品等は、当社グループ各社あるいは他社等の登録商標または商標です。

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 2

こちらが、本日のアジェンダとなります。

まずは、2025年3月期 第3四半期実績についてご説明します。
4ページをご覧ください。

1

2025年3月期 第3四半期実績

1. 2025年3月期 第3四半期実績

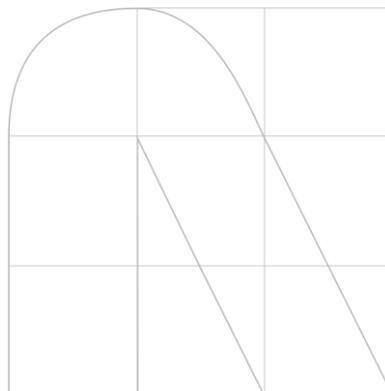
- 2025年3月期 第3四半期実績（前期比増減概要）
- 受注高 | 増減内訳
- 売上高 | 増減内訳
- 営業利益 | 増減内訳
- 海外セグメントの業績内訳
- 営業利益 | 増減内訳（要因別）

2. 日本セグメントの状況

3. 海外セグメントの状況

4. 全社共通取り組みの状況

5. 巻末資料



(説明省略)

2025年3月期 第3四半期実績（前期比増減概要）

- ・ 対前年度増収・増益
- ・ 通期業績予想に対して順調に進捗

	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2025年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	前期比 (金額)	前期比 (比率)		2025年3月期 予想	対業績予想 進捗率 (比率)
売上高	31,762	34,078	+2,316	+7.3%	↑	44,300	76.9%
営業利益 (営業利益率)	1,971 (6.2%)	2,360 (6.9%)	+389 (+0.7P)	+19.8%	↑	3,360 (7.6%)	70.2%
当社株主に帰属する 四半期利益	837	965	+127	+15.2%	↑	1,370	70.4%
受注高	35,668	36,643	+975	+2.7%	↑	DC事業 除き 43,300	-
<参考 DC事業除き受注高>	<28,805>	<31,357>	<+2,551>	<+8.9%>		<43,300>	<72.4%>

※ <>内はデータセンター事業（DC事業）を除いた受注高について記載

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 4

こちらが、第3四半期実績の概要です。

対前期比では、

売上高は、+2,316億円の増収、

営業利益は、+389億円の増益、

四半期利益は、+127億円の増益、

受注高は、+975億円の増加、

となりました。

いずれの項目についても、通期業績予想に対して、
順調に進捗しています。

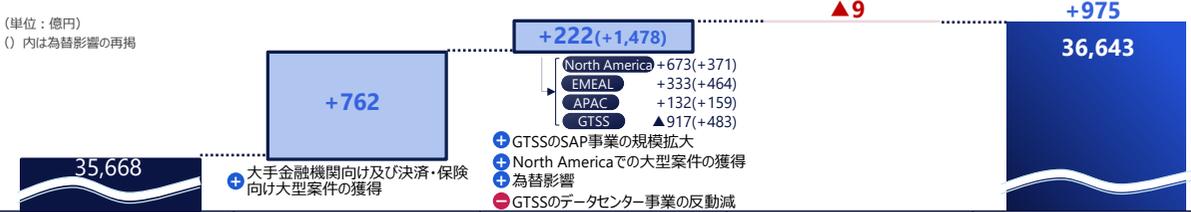
各項目の詳細については、次ページ以降でご説明します。

5ページをご覧ください。

受注高 | 増減内訳 (2025年3月期 第3四半期実績)

日本国内の各分野が好調。海外は、GTSSのSAP事業やNorth Americaが増加

(単位：億円)
() 内は為替影響の再掲



- ⊕ 大手金融機関向け及び決済・保険向け大型案件の獲得
- ⊕ GTSSのSAP事業の規模拡大
- ⊕ North Americaでの大型案件の獲得
- ⊕ 為替影響
- ⊖ GTSSのデータセンター事業の反動減

受注高	2024年3月期 4月～12月		2025年3月期 4月～12月		対前年度 増減	対業績予想 2024.4-12進捗率		2025年3月期 10月～12月		対前年度 増減
	2024年3月期 4月～12月	2025年3月期 4月～12月	2024年3月期 10月～12月	2025年3月期 10月～12月		2024年3月期 10月～12月	2025年3月期 10月～12月			
合計	35,668	36,643	14,002	11,639	+975	-	100	45	+975	
日本	11,558	12,320	3,481	3,558	+762	74.7%	16,500	3,558	+77	
再掲										
公共・社会基盤	4,762	4,812	1,115	914	+50	73.2%	6,570	1,115	+200	
金融	3,714	4,166	1,328	1,550	+452	78.6%	5,300	1,328	+222	
法人	2,633	2,822	901	999	+189	69.7%	4,050	901	+98	
海外(*)	24,002	24,224	10,476	8,047	+222	-	26,700	8,047	+2,428	
再掲										
North America	5,407	6,081	2,699	2,838	+673	72.0%	8,440	2,699	+139	
EMEAL	7,281	7,614	2,783	2,829	+333	67.7%	11,240	2,783	+46	
APAC	2,481	2,613	833	874	+132	61.9%	4,220	833	+41	
Global Technology and Solution Services (GTSS) (*)	8,833	7,916	4,161	1,507	▲917	-	2,800	4,161	▲2,654	
その他	108	98	45	33	▲9	98.5%	100	45	▲12	

(*) このうち、データセンター事業の受注高は、2024年3月期(4月～12月): 6,863億円、2025年3月期(4月～12月): 5,287億円 (対前期▲1,577億円)。2025年3月期予想には含まない。

まず受注高については、対前期比で、+975億円増加しました。

日本セグメントは、
金融分野における大手金融機関向けや決済・保険向けの大型案件の獲得に加えて、
法人分野及び公共・社会基盤分野の受注も好調であり、
+762億円の増加となりました。

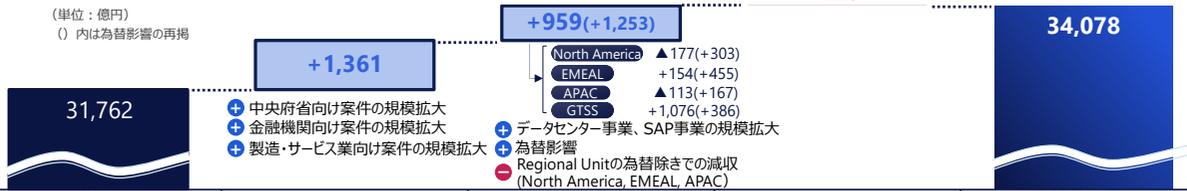
海外セグメントは、
North Americaでは大型受注獲得もありましたが、
グローバル・テクノロジー&ソリューション・サービスのデータセンター事業では前年度第3四半期に計上した大型受注の反動減により大幅な減少となりました。
海外セグメント全体では、為替影響が+1,478億円あり、
+222億円の増加となりました。

6ページをご覧ください。

売上高 | 増減内訳 (2025年3月期 第3四半期実績)

日本国内の各分野が好調。海外はGTSSのデータセンター事業やSAP事業が好調の一方で、各Regional Unitは減収傾向。海外全体では、為替影響により増収

(単位: 億円)
() 内は為替影響の再掲



売上高	2024年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		2025年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		対前年度 増減	2025年3月期 予想	対業績予想 2024.4-12進捗率	2024年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		2025年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		対前年度 増減
	2024年3月期 4月~12月	2025年3月期 4月~12月	2024年3月期 10月~12月	2025年3月期 10月~12月				2024年3月期 10月~12月	2025年3月期 10月~12月			
合計	31,762	34,078	+2,316	44,300	76.9%	10,976	11,677	+700				
日本	12,466	13,827	+1,361	18,400	75.1%	4,238	4,961	+723				
再掲												
公共・社会基盤	4,674	5,511	+837	7,580	72.7%	1,625	2,039	+414				
金融	5,022	5,361	+339	7,270	73.7%	1,717	1,896	+180				
法人	3,941	4,283	+343	5,780	74.1%	1,306	1,493	+187				
海外	19,582	20,541	+959	26,500	77.5%	6,853	6,828	▲25				
再掲												
North America	5,139	4,961	▲177	6,670	74.4%	1,758	1,599	▲159				
EMEAL	7,302	7,456	+154	9,980	74.7%	2,562	2,511	▲51				
APAC	2,854	2,741	▲113	4,140	66.2%	976	886	▲89				
Global Technology and Solution Services (GTSS)	5,258	6,334	+1,076	7,460	84.9%	1,927	2,146	+219				
その他	▲287	▲290	▲3	▲600	-	▲114	▲113	+2				

NTT DATA 6

次に、売上高の状況です。

全体では対前期比+2,316億円の増収となっています。

日本セグメントは、公共・社会基盤分野が中央府省向け案件の規模拡大等により増収だったことに加えて、金融分野・法人分野も増収であり、セグメント全体では+1,361億円の増収となりました。

海外セグメントは、グローバル・テクノロジー&ソリューション・サービスのデータセンター事業やSAP事業が順調に拡大した一方で、North America、EMEAL、APACの各Regional Unitは、為替影響除きで減収となっています。海外セグメント全体では、為替影響が+1,253億円あり、+959億円の増収となりました。

7ページをご覧ください。

営業利益 | 増減内訳 (2025年3月期 第3四半期実績)

日本国内・海外ともに増益。日本国内には不採算費用の剥落、海外には海外事業構造改革費用の剥落が含まれている。

(単位: 億円)

() 内は為替影響の再掲



営業利益 (営業利益率)	2024年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		2025年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		対前年度 増減	2025年3月期 予想	対業績予想 2024.4-12月進捗率	2024年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		2025年3月期 第3四半期実績 (4月~12月)		対前年度 増減
	4月~12月	4月~12月	4月~12月	4月~12月				10月~12月	10月~12月			
合計	1,971	2,360	+389	3,360	70.2%	752	870	+118				
国内3分野合算(*)	1,450	1,713	+263	2,370	72.3%	512	640	+127				
再掲												
公共・社会基盤	508 (10.9%)	703 (12.8%)	+195 (+1.9P)	940 (12.4%)	74.8%	200 (12.3%)	274 (13.4%)	+74 (+1.1P)				
金融	523 (10.4%)	536 (10.0%)	+13 (▲0.4P)	810 (11.1%)	66.2%	174 (10.1%)	201 (10.6%)	+27 (+0.5P)				
法人	418 (10.6%)	474 (11.1%)	+55 (+0.4P)	620 (10.7%)	76.4%	138 (10.6%)	165 (11.0%)	+26 (+0.4P)				
海外	621 (3.2%)	715 (3.5%)	+94 (+0.3P)	1,290 (4.9%)	55.4%	279 (4.1%)	239 (3.5%)	▲39 (▲0.6P)				
その他	▲100	▲68	+32	▲300	-	▲39	▲9	+30				

(*) 公共・社会基盤、金融、法人分野の合計値

次に、営業利益の状況です。

営業利益は、国内・海外ともに増益であり、対前期比+389億円となりました。

日本国内は、増収による増益に加えて、前年度に発生した不採算費用の剥落等により、国内3分野合算では+263億円の増益となりました。

海外は、データセンター事業やSAP事業、North Americaでの増益や、前年度に計上した事業構造改革費用の剥落等により、+94億円の増益となりました。

8ページをご覧ください。

海外セグメントの業績内訳

(単位：億円)

		2024年3月期 4月～12月	2025年3月期 4月～12月	前期比 (金額)	為替影響 ^(*) 除外	為替影響 ^(*) 含む	前期比 (比率)	2024年3月期 4月～3月	2025年3月期 予想	対業績 予想進捗率	2024年3月期 10月～12月	2025年3月期 10月～12月	前期比 (金額)
売上高		19,582	20,541	+959	▲294	+1,253	+4.9%	26,545	26,500	77.5%	6,853	6,828	▲25
再掲	North America	5,139	4,961	▲177	▲480	+303	▲3.4%	6,883	6,670	74.4%	1,758	1,599	▲159
	EMEAL	7,302	7,456	+154	▲300	+455	+2.1%	9,887	9,980	74.7%	2,562	2,511	▲51
	APAC	2,854	2,741	▲113	▲280	+167	▲4.0%	3,762	4,140	66.2%	976	886	▲89
	GTSS	5,258	6,334	+1,076	+690	+386	+20.5%	7,260	7,460	84.9%	1,927	2,146	+219
EBITA^(*)(*) (EBITA率)		986 (5.0%)	1,107 (5.4%)	+122 (+0.4p)	+54	+68	+12.4%	1,665 (6.3%)	1,780 (6.7%)	62.2%	406 (5.9%)	373 (5.5%)	▲33 (▲0.5%)
再掲	North America	242 (4.7%)	285 (5.8%)	+43 (+1.0p)	+26	+17	+17.8%	371 (5.4%)	400 (6.0%)	71.4%	103 (5.8%)	74 (4.6%)	▲29 (▲1.2p)
	EMEAL	295 (4.0%)	286 (3.8%)	▲8 (▲0.2p)	▲26	+17	▲2.8%	416 (4.2%)	710 (7.1%)	40.3%	127 (4.9%)	85 (3.4%)	▲42 (▲1.6p)
	APAC	272 (9.5%)	208 (7.6%)	▲64 (▲2.0p)	▲77	+13	▲23.6%	356 (9.5%)	400 (9.7%)	52.0%	93 (9.6%)	60 (6.8%)	▲33 (▲2.8p)
	GTSS	468 (8.9%)	635 (10.0%)	+167 (+1.1p)	+129	+39	+35.8%	855 (11.8%)	840 (11.3%)	75.6%	182 (9.4%)	256 (11.9%)	+74 (+2.5p)
受注高^(*)		24,002	24,224	+222	▲1,256	+1,478	+0.9%	31,243	DC事業 除外 26,700	-	10,476	8,047	▲2,428
再掲	North America	5,407	6,081	+673	+303	+371	+12.5%	7,102	8,440	72.0%	2,699	2,838	+139
	EMEAL	7,281	7,614	+333	▲132	+464	+4.6%	10,063	11,240	67.7%	2,783	2,829	+46
	APAC	2,481	2,613	+132	▲27	+159	+5.3%	3,339	4,220	61.9%	833	874	+41
	GTSS ^(*)	8,833	7,916	▲917	▲1,399	+483	▲10.4%	10,738	DC事業 除外 2,800	-	4,161	1,507	▲2,654

(*) EBITA = 営業利益 + 買収に伴うPPA無形固定資産の償却費等
 (2) 事業統合費用の年間300億円(会計簿価は、海外セグメント全体の2025年3月期予想1,780億円)のみ含む。実績値は各Unitに計上され、2025年3月期4月～12月のEBITAには、全体で152億円、North America10億円、EMEAL55億円、APAC8億円、Global Technology and Solutions Services(GTSS) 6億円の費用を含む。
 (3) このうち、データセンター事業の受注高は、2024年3月期(4月～12月)：6,863億円、2025年3月期(4月～12月)：5,287億円(対前期▲1,577億円)、2025年3月期予想には含まない。
 (4) 為替影響は、全Unit共通で、USD建実績値を円換算した際の、当年度と前年度の為替レート差による影響額を表示。USD為替レート(期中平均レート)は2024年3月期4月～12月：143.33円、2025年3月期4月～12月：152.64円。

こちらでは、海外セグメントのUnit別の状況について補足します。

North Americaの売上高は対前期比で減収ですが、EBITAは管理費削減効果により増益を達成しております。

受注は、第3四半期において、500M米ドル超の大型の拡大(Expansion) 案件を獲得した結果、前期より増加しております。

EMEALの売上高は、UKやドイツの不調が継続しており、為替影響を除いて減収です。

EBITAは、前期における事業構造改革費用の剥落による増加はあるものの、減収影響により減益となっています。

APACは、事業規模の大きいオーストラリアでの特定顧客の失注やコンサルティング・マネージドサービスの不調の影響などにより、減収減益となっています。

GTSS (グローバル・テクノロジー&ソリューション・サービス) は、データセンター事業もSAP事業も引き続き好調を維持しており、約20%の売上高成長、EBITAも約35%の増益を達成しております。

9ページをご覧ください。

営業利益 | 増減内訳（要因別）

第4四半期には、一過性要因による減益影響もあるが、増収に伴う増益等により、通期業績予想達成を目指す

（単位：億円）



今年度の営業利益は、一過性要因による増減影響が大きいいため、第3四半期累計実績と通期見通しの対前年増減の内訳を示しています。

上段の第3四半期累計では、主な一過性要因として、前期に計上した事業構造改革費用の剥落による増益影響が195億円、Strategic Investmentsや事業統合費用の増加による減益影響が109億円あります。

下段の通期見通しでは、第4四半期にデータセンター売却益等の剥落や、Strategic Investments、事業統合費用の増加があり、通期の減益影響が370億円となる見込みです。

第4四半期ではこれらの一過性要因を含めた上で、通期の業績予想達成を目指します。

10ページをご覧ください。

2

日本セグメントの状況

1. 2025年3月期 第3四半期実績

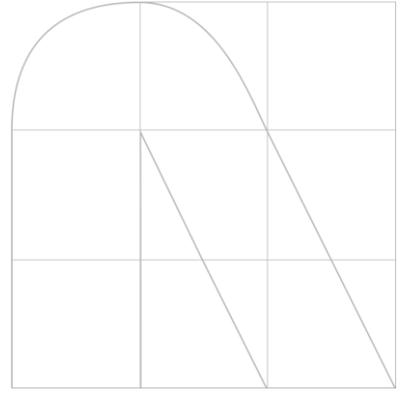
2. 日本セグメントの状況

- 事業環境
- Quality Growth-質の伴った成長-への取り組み
- “博報堂×NTTデータ”で企業の「デマンドチェーン変革」を推進

3. 海外セグメントの状況

4. 全社共通取り組みの状況

5. 巻末資料



続きまして、業績以外の状況についてご説明します。
まずは日本セグメントの状況です。

11ページをご覧ください。

日本セグメントの状況 事業環境

公共・社会基盤

■外部環境

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」などを契機に、官民連携や社会課題解決を目的とした日本政府のIT投資が増加基調にある。また、マイナンバーカード関連事業、国・地方自治体のシステム共通化、各府省の事業や準公共各分野（健康・医療・介護、教育、防災等）におけるDX化の更なる推進が期待される。

■当社の状況

第3四半期累計では、複数の中央府省向け大型案件により増収を達成。

金融

■外部環境

大手金融機関では、顧客接点及び顧客体験の強化や業界の枠を超えた金融サービス実現のためのITサービス投資が増加。地域金融機関では、IT投資は横ばいであるが、地銀再編による新たなIT投資や勘定系システムオープン化に向けた動きの拡大が期待される。

■当社の状況

第3四半期累計では、大手金融機関向け案件及び決済・保険向け案件の拡大が増収を牽引。

法人

■外部環境

製造業・小売業を始めとするすべてのインダストリで、DXや生成AI、サステナビリティ関連の事業機会は堅調に拡大。企業の経営課題は多様化しており、その解決のための方策も多様化する中、コンサルティング力・エンジニアリング力をベースに、ワンストップで顧客の経営課題の解決を能動的にサポートすることが求められている。

■当社の状況

第3四半期累計では、お客様の戦略パートナーとしての貢献に注力し、幅広い業界向けにビジネス展開。

こちらは、日本国内の事業環境についてです。

引き続き需要は堅調で、直近3か月で特に大きな変化はありませんので、詳細な説明は割愛させていただきます。

12ページをご覧ください。

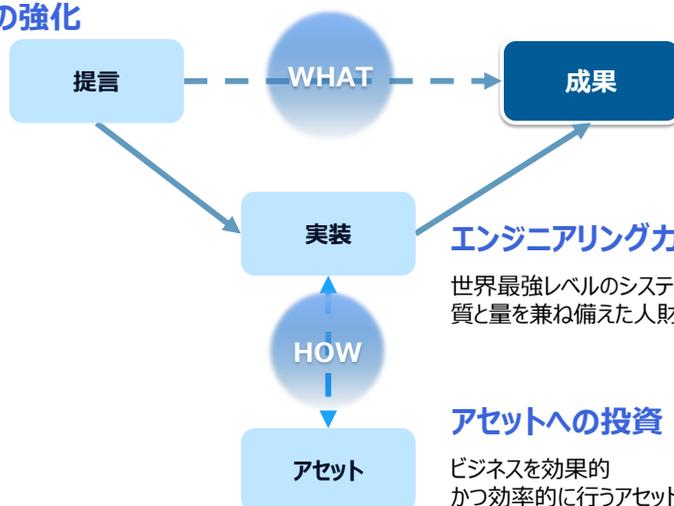
日本セグメントの状況

Quality Growth-質の伴った成長-への取り組み

お客様の“What”（経営課題）を起点に変革に伴走し、提供価値の向上を通じて、持続的な成長と収益性の両立を目指す

コンサルティング力の強化

経営課題を起点にした
コンサルティング



デジタル競争力の強化

提言を言って終わりではなく、
成果につなげ提言を更に磨く

エンジニアリング力の強化

世界最強レベルのシステム構築力・
質と量を兼ね備えた人財

アセットへの投資

ビジネスを効果的
かつ効率的に行うアセットの開発

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

12

当社グループでは、中期経営戦略の取り組みにあたり、「Quality Growth」（質の伴った成長）を課題として掲げ、お客様への提供価値向上を通じて、持続的な成長と収益性の両立を目指しています。

こちらでお示しておりますとおり、お客様の経営課題に対して、コンサルティング起点で提言を行い、最先端テクノロジーを活用した実装力により、最適なサービスやソリューションを提供することで、お客様の成果を確実に紡ぎ出していきたいと考えています。

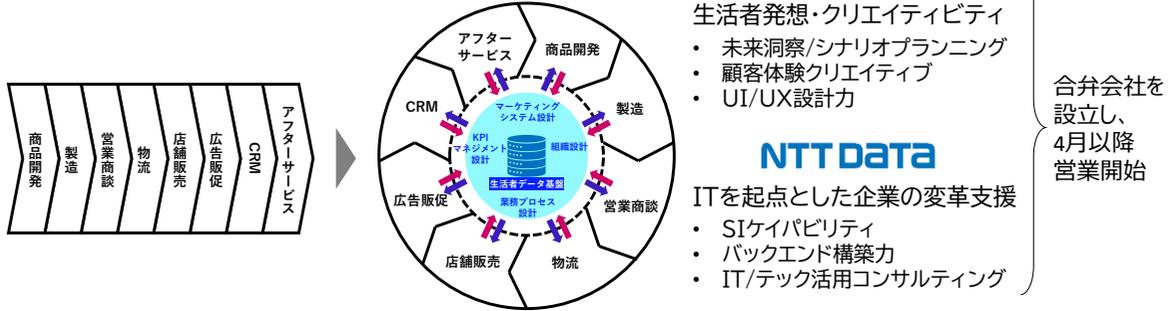
また、アセットへの投資を行い、早期にお客様の成果を実現できるような取り組みにしていきたいと考えています。

日本セグメントの状況

“博報堂×NTTデータ”で企業の「デマンドチェーン変革」を推進

博報堂の顧客接点領域における強みとNTTデータのデジタル変革推進力における強みをいかし、互いのケイパビリティを補完することで、企業の事業課題に合わせた一気通貫での変革支援を実現

デマンドチェーン変革



戦略策定、生活者体験設計、データ/テクノロジー活用、システム実装をワンストップで提供する

「Quality Growth」を目指した博報堂様との協業について、先日、報道発表を行いました。

こちらでお示ししているデマンドチェーン変革とは、企業のバリューチェーンを生活者目線で捉えて、お客様企業の売上・利益の向上につなげていくものです。

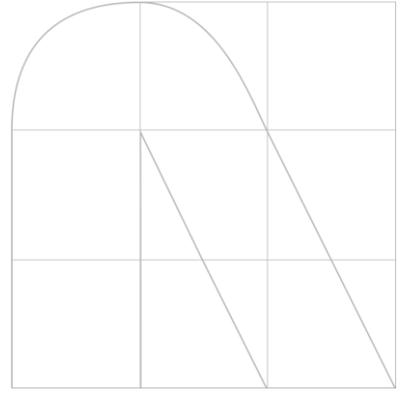
本協業により、博報堂様の持つ生活者発想のクリエイティビティと、NTTデータの持つITを起点とした変革推進力など、互いのケイパビリティを補完して提供することで、お客様のデマンドチェーン変革を支援したいと考えています。

14ページをご覧ください。

3

海外セグメントの状況

1. 2025年3月期 第3四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
 - 事業環境
 - North Americaにおける成長戦略の成果
 - データセンター事業の投資・受注等の状況
 - データセンター事業の収支状況
 - 海外事業統合の進捗状況
4. 全社共通取り組みの状況
5. 巻末資料



続きまして、海外セグメントの状況についてご説明します。
15ページをご覧ください。

海外セグメントの状況 事業環境

Global Technology and Solution Services (GTSS)	データセンター事業 SAP事業等	<p>■外部環境 米国のIT業界は、AI、Cloud Computing、Security等の領域が牽引して成長が続いているが、同時に、インフレ動向の不確実性による企業の投資手控え、適切なスキルセットを持つ人材の不足などの成長阻害要因も内在している。第4四半期以降政権交代に伴う影響を注視する必要がある。</p> <p>■当社の状況 ヘルスケア分野等での案件の剥落、通信端末機器販売の減により対前年減収。第3四半期では大型の新規案件の獲得があり、引き続き、受注パイプラインからの新規・拡大案件の獲得に取り組む。</p>
		<p>■外部環境 ヨーロッパは、平均GDP成長率予測は低いがIT投資は堅調。国別では、スペインは製造業が堅調でIT投資も旺盛の一方、ドイツは製造業、特に自動車業界でのIT投資が抑制傾向。南米は、平均GDP成長率予測は低いがIT需要は旺盛である。</p> <p>■当社の状況 スペイン・南米は好調の一方、景気影響もありUK・ドイツは減収。営業体制の立て直しを進めており、受注パイプラインの創出・案件獲得に引き続き取り組む。</p>
		<p>■外部環境 IT市場は持続的に成長、特にクラウドサービスは需要が旺盛。一方で、オーストラリア等のGDP成長率は低水準で、APAC全体でも、インフレや為替変動等の不確実性が、企業のIT投資にマイナス影響を与える可能性がある。</p> <p>■当社の状況 オーストラリア・シンガポール・インドの事業規模が大きく、オーストラリアは特定顧客の失注等の影響に加え、コンサルティングサービス・マネージドサービスにおいて減収。受注パイプラインの創出・案件獲得に引き続き取り組む。</p>
		<p>■外部環境 データセンター事業の需要は、生成AIにより20%以上の追加成長が見込まれている。</p> <p>■当社の状況 生成AI等の旺盛な需要により好調に推移。受注パイプラインからの大型案件獲得に引き続き取り組む。</p> <p style="text-align: right;">*市場調査を基にしたNTT予測</p>
		<p>■外部環境 SAP事業は企業のクラウドERPへの移行需要が引き続き旺盛であることと、生成AIを活用したソリューション等への期待もあり高い成長率が期待されている。</p> <p>■当社の状況 旺盛な需要により業績は好調に推移している。</p>

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 15

こちらは、海外の事業環境についてです。

国内同様、第3四半期では特に大きな変化はありませんが、
 今後は、アメリカでの政権交代に伴う影響を注視していく必要がある
 と考えています。

16ページをご覧ください。

North Americaにおける成長戦略の成果

- Client growth office(*)による戦略遂行の成果として、ヘルスケア分野において大型の新規案件を受注
- 今後もNorth America以外の地域も含めて、重点顧客からの大型受注獲得をめざした戦略的取り組みを展開

米国の大手ヘルスケアソリューションプロバイダにおける、7年間の大型契約
お客様のIT環境をマルチクラウドプラットフォームへ移行し、機動的な業務運営や管理コスト削減を実現



本受注案件の特徴

- お客様の使用するデータセンターを当社グループのデータセンターに集約
- グローバルクラウド事業者との強力なパートナーシップを活用したマルチクラウドの構築
- 当社のデータセンター事業者としての実績、「フルスタック」サービスの提供力が評価され、案件を獲得

(*) North Americaにおいて今期新設した成長戦略を担う組織であり、重点顧客からの案件獲得を戦略的かつプロアクティブに推進

North Americaでの大型受注案件の概要について説明します。

本件は、既存のお客様に対する、500M米ドル超の長期大型、かつ拡大案件（Expansion）であり、強力なパートナーシップを活用したマルチクラウドの構築やデータセンター事業者としての実績、フルスタックサービスの提供力を評価いただいた事例であると考えています。

今後も、North America 以外の地域も含めて、重点顧客からの大型受注獲得を目指した戦略的取り組みを展開してまいります。

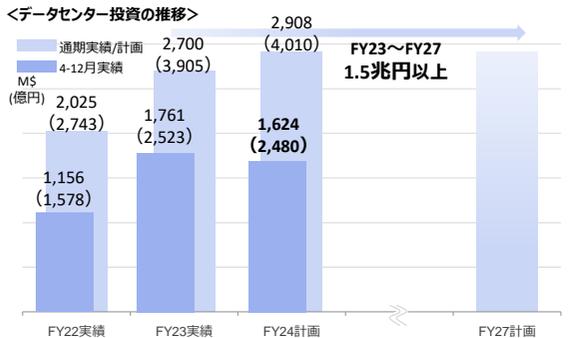
17ページをご覧ください。

海外セグメントの状況

データセンター事業の投資・受注等の状況

- 第3四半期の投資実績は**1,624M\$ (2,480億円)**。受注実績は**3,463M\$ (5,287億円)**、対前期比▲**1,325M\$ (▲1,577億円)**
受注の減少は、前期に計上した大型受注の反動減によるものであり、需要は引き続き旺盛
- 2024年度通期で8棟、約380MWを提供開始予定。第3四半期までに、**6棟、約300MW**を提供開始

データセンター投資の状況

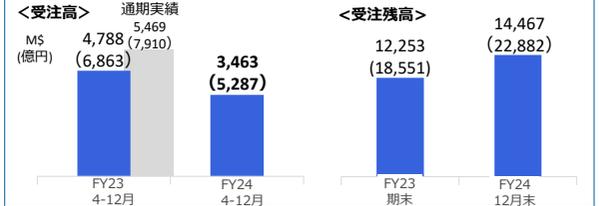


<取組事例>

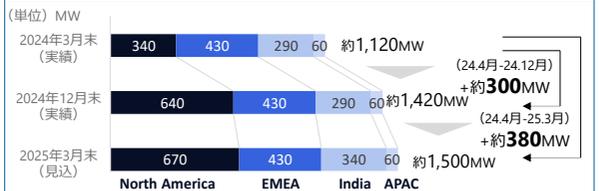
栃木市に新たなデータセンター用地を取得
<https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2025/020500/>



受注高・受注残高の推移



サービス提供状況



続いて、データセンター事業の状況についてご説明します。

第3四半期では投資実績は1,624M米ドル、受注実績は3,463M米ドルとなっています。

受注実績は、対前期比で約▲1,300M米ドル減少していますが、データセンター事業は大口顧客との契約締結のタイミングによる四半期ごとの変動幅が大きく、今回の減少は、前年同期に計上した大型受注の反動減によるものです。

受注残高が着実に積みあがっていることに加えて、第4四半期以降の受注パイプラインも豊富にあり、データセンター事業に対する需要は変わらず旺盛であると考えています。

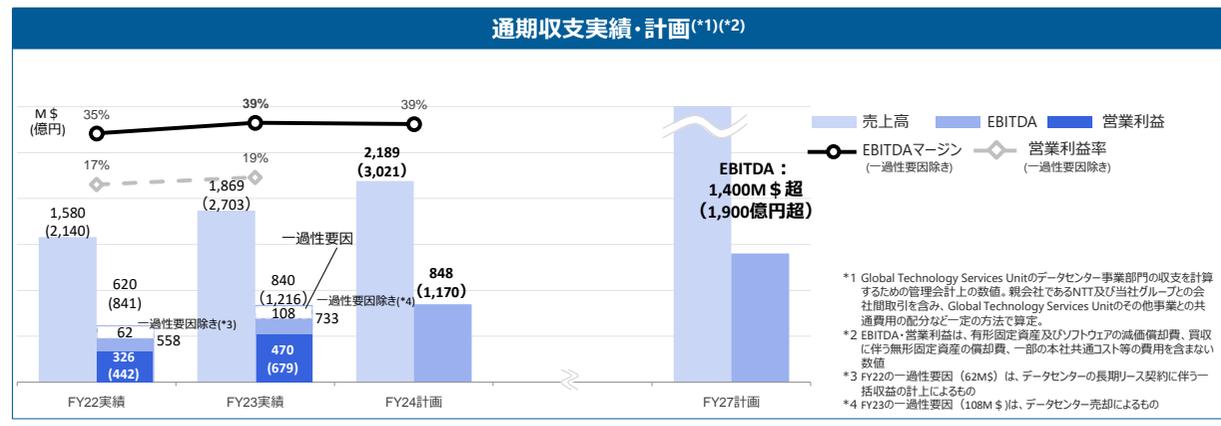
また、直近では、栃木市の新たなデータセンター用地取得内定企業として選定されました。本用地は、首都圏エリアにおける新たなデータセンターとして開発を進めてまいります。詳細は本スライドに記載のURLにあるニュースリリースをご参照ください。

18ページをご覧ください。

海外セグメントの状況 データセンター事業の収支状況

- 第3四半期の売上高は1,790M\$（対前期比+437M\$）、EBITDAは637M\$（対前期比+127M\$）
- 2027年度のEBITDAについて1,400M\$超（1,900億円超）を目指す

	売上高	EBITDA <EBITDAマージン>	営業利益 <営業利益率>
FY24 4-12月	1,790M\$ (2,732億円)	637M\$ (973億円) 36%	302M\$ (461億円) 17%
対前期比	+437M\$ (+793億円)	+127M\$ (+242億円) ▲2Pt	+51M\$ (+101億円) ▲2pt



次に、データセンター事業の収支状況です。

第3四半期では、売上高 1,790M米ドル、EBITDA 637M米ドル、EBITDAマージン36%、営業利益 302M米ドルとなっており、通期業績予想に対して、売上・利益ともに順調に進捗しています。

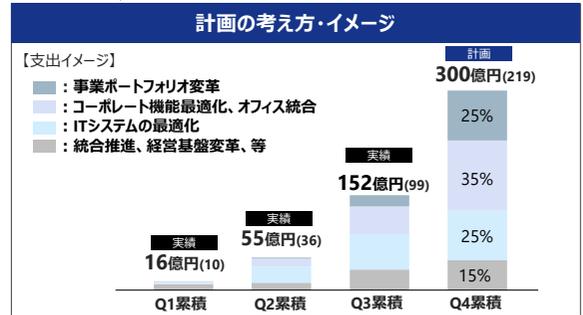
19ページをご覧ください。

海外セグメントの状況 海外事業統合の進捗状況

- 第3四半期は、コーポレート機能最適化、ITシステム最適化を中心に実施
- 第4四半期では、第3四半期に実施した施策を継続し、2025年度に向け着実なシナジー効果創出を図る



第3四半期 実績				
コーポレート機能最適化、ITシステムの最適化を中心に実施				
【Unit別内訳】	FY24.Q3累計 <4月~12月>	FY24.Q1 <4月~6月>	FY24.Q2 <7月~9月>	FY24.Q3 <10月~12月>
North America	10億円 (6.8)	3億円	-	7億円
EMEAL	55億円 (35.6)	3億円	7億円	44億円
APAC	8億円 (5.3)	1億円	3億円	4億円
Global Technology and Solution Services	6億円 (3.8)	1億円	-	4億円
HQ等	73億円 (47.8)	7億円	30億円	36億円



© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 19

続いて、海外事業統合の進捗状況です。

第3四半期累計では、コーポレート機能最適化やITシステムの最適化を中心に152億円支出しました。

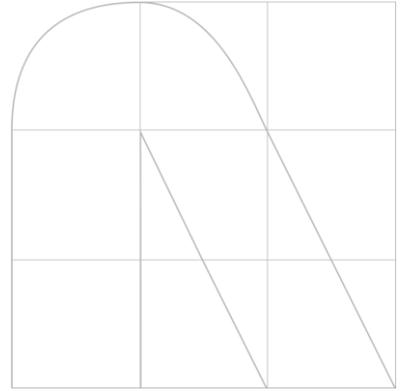
年間計画に対しては予定通りの進捗であり、2025年度でのシナジー効果創出に向け、取り組みを継続してまいります。

20ページをご覧ください。

4

全社共通取り組みの状況

1. 2025年3月期 第3四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
4. 全社共通取り組みの状況
 - ・ 生成AI関連ビジネスの状況
 - ・ 金融損益等、法人所得税費用の状況
5. 巻末資料



続きまして、全社共通取り組みの状況についてご説明します。
21ページをご覧ください。

全社共通取り組みの状況
生成AI関連ビジネスの状況

- 1 生成AI関連ビジネスが、グローバル全体で累計1,000件を突破
- 2 SmartAgentの新サービス“LITRON Sales”の引き合い件数約100件

旺盛な需要を着実に獲得し、生成AI関連ビジネスで

2027年度にグローバル全体で**3,000億円^(*)**の売上を目指す

1 生成AI関連ビジネス
グローバル全体で累計1,000件を突破

Continental社様
製品開発プロセスの効率化

JALカード社様
カード利用明細データ活用による送客ビジネス強化

他多数

2 SmartAgent
営業特化エージェント“LITRON Sales”
サービス提供開始後の引き合い件数約100件



© 2025 NTT DATA Group Corporation (*) 20億米ドル

NTT DATA

21

こちらは、生成AIに関する取り組みについてです。

生成AI関連ビジネスについては、Continental様での自動車製品開発プロセスへの適用や、JALカード様での送客ビジネス強化に向けた活用等、グローバル全体で累計1,000件の案件への適用を行っています。

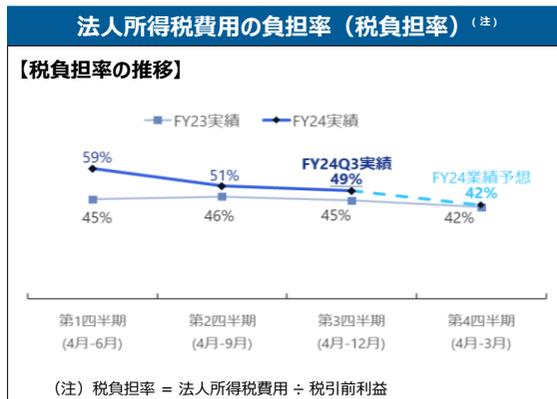
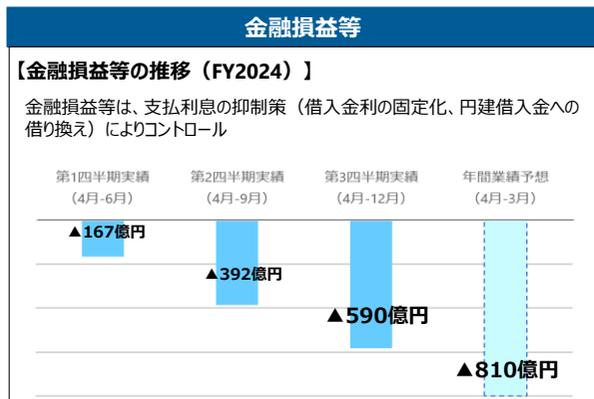
また、当社では、AIEージェントが新たな労働力を提供する「SmartAgent」のコンセプトの下、グローバルでサービス展開を進めており、営業特化エージェント「LITRON Sales」については、2024年11月のサービス発表以降、多数のお問い合わせをいただいております。

当社は、これらの旺盛な需要を着実に獲得することで、生成AI関連ビジネス全体で、2027年度に3,000億円の売上を目指してまいります。

22ページをご覧ください。

■ 全社共通取り組みの状況 ■ 金融損益等、法人所得税費用の状況

- 金融損益等は、▲590億円（対FY23Q3▲121億円、うち為替影響約▲37億円）であり、**想定通りの進捗**
- 有利子負債増加を抑制するためのREIT活用（2025年度予定）等の取組は継続検討中
- 法人所得税費用の負担率は、第3四半期では約49%であり、期末に向けて**想定通り進捗**



© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

22

続いて、金融損益等、法人所得税費用の状況についてです。

第3四半期の金融損益等は▲590億円であり、年間予想の▲810億円に対して想定通りの進捗です。

法人所得税費用の負担率は、第3四半期では約49%であり、期末に向けて想定通りの進捗です。

私からのご説明は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

5

巻末資料 - 決算・業績予想値の詳細 -

1. 2025年3月期 第3四半期実績

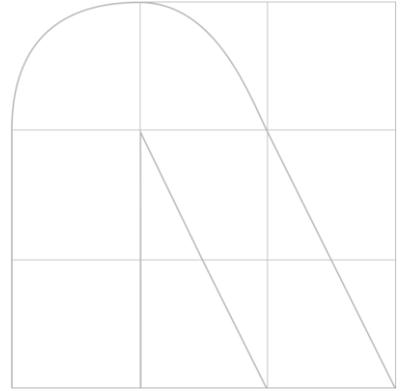
2. 日本セグメントの状況

3. 海外セグメントの状況

4. 全社共通取り組みの状況

5. 巻末資料

為替レート／連結業績／売上高（連結）／受注高・受注残高（連結）
／四半期情報（連結）／連結財政状態計算書
／データセンター事業（海外セグメント）の状況



(説明省略)

為替レート

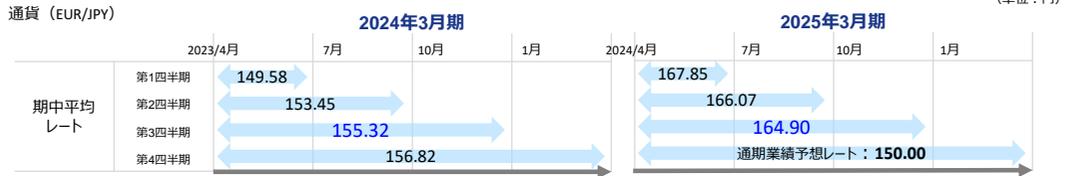
・USD為替レート

※為替影響は、全Unit共通で、USD建実績値を円換算した際の、当年度と前年度の為替レート差による影響額を表示

(単位：円)



・参考：EUR為替レート



・参考：為替感応度 ※「2024年3月期 決算説明資料：P18_2025年3月期 業績予想の前提」より引用

「2025年3月期通期業績予想レート」から1円変動した場合のFY24通期業績予想への影響額 (円安：プラス、円高：マイナス)

USD 売上高 約 ±110億円、EBITA 約 ±7億円 / EUR 売上高 約 ± 80億円、EBITA 約 ±6億円

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

(説明省略)

連結業績

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2025年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	前期比 (金額)
受注高 ⁽¹⁾	35,668	36,643	+975
DC事業以外	28,805	31,357	+2,551
DC事業	6,863	5,287	▲1,577
受注残高 ⁽¹⁾	55,417	65,161	+9,744
DC事業以外	38,736	42,278	+3,543
DC事業	16,681	22,882	+6,201
売上高	31,762	34,078	+2,316
売上原価	23,257	24,760	+1,503
売上総利益	8,504	9,317	+813
販売費及び一般管理費	6,534	6,957	+424
人件費	3,394	3,646	+253
作業委託費	1,285	1,339	+54
経費等その他	1,855	1,972	+117
営業利益	1,971	2,360	+389
営業利益率(%)	6.2	6.9	+0.7P
金融収益・費用／持分法投資損益	▲469	▲590	▲121
税引前当期利益	1,501	1,770	+268
法人所得税費用等 ⁽²⁾	664	805	+141
当社株主に帰属する当期利益	837	965	+127
設備投資	4,250	4,383	+133
減価償却費等 ⁽³⁾	2,065	2,236	+171

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比 (金額)
	47,909	DC事業除き 43,300	-
	39,999	43,300	+3,301
	7,910	-	-
	58,596	DC事業除き 42,630	-
	40,045	42,630	+2,585
	18,551	-	-
	43,674	44,300	+626
	31,724	32,100	+376
	11,950	12,200	+250
	8,854	8,840	▲14
	4,639		
	1,839		
	2,376		
	3,096	3,360	+264
	7.1	7.6	+0.5P
	▲609	▲810	▲201
	2,486	2,550	+64
	1,147	1,180	+33
	1,339	1,370	+31
	6,574	6,620	+46
	2,818	3,040	+222

(1) 2025年3月期予想の受注高及び受注残高には、データセンター（DC）事業の数値を含まない
 (2) 「法人所得税費用等」には、「法人所得税費用」及び「非支配持分に帰属する当期利益」を含む
 (3) 2020年3月期以降はリース償却費を含めずに算出

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

25

(説明省略)

売上高（連結）

内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2025年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
日本		12,189	13,565	17,184	17,800
再掲	公共・社会基盤	3,821	4,558	5,686	6,500
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	2,093	2,734	3,235	3,950
	テレコム・ユーティリティ	922	962	1,312	1,310
	金融	4,178	4,417	5,755	5,760
	大手金融機関	1,628	1,667	2,238	2,330
	地域金融機関	1,302	1,334	1,802	1,650
	決済・保険	1,097	1,149	1,504	1,580
	法人	3,623	3,954	4,917	5,230
	製造・サービス	650	860	910	1,130
	小売・消費財	788	856	1,058	1,250
コンサルティング・ペイメント	2,184	2,238	2,949	2,850	
海外	19,479	20,428	26,363	26,400	

製品及びサービス別（外部顧客向け）

コンサルティング	3,802	4,288	5,376	5,500
統合ITソリューション	5,152	5,152	6,882	7,000
システム・ソフトウェア開発	5,368	6,144	7,774	7,900
メンテナンス・サポート	7,634	8,277	10,343	10,400
データセンター ^(*) ^(*) ^(*)	2,003	2,757	2,814	3,000
通信端末機器販売等及びその他のサービス ^(*)	7,802	7,459	10,485	10,500
製品及びサービス別の売上高 合計	31,762	34,078	43,674	44,300

(*) 2024年4月からの新たなグローバル運営体制に伴い、2025年3月期より「データセンター」「通信端末機器販売等及びその他のサービス」へ区分変更。2024年3月期実績は組替後の数値を記載
 (**) 主にGlobal Technology Services Unitが行うデータセンター事業の数値

（説明省略）

受注高・受注残高（連結）

受注高内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2025年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
日本		11,558	12,320	16,467	16,500
再掲	公共・社会基盤	4,762	4,812	6,751	6,570
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	3,089	3,002	4,325	4,090
	テレコム・ユーティリティ	749	809	1,182	1,240
	金融	3,714	4,166	5,277	5,300
	大手金融機関	1,527	1,718	2,268	2,470
	地域金融機関	1,451	1,230	1,990	1,670
	決済・保険	600	787	815	910
	法人	2,633	2,822	3,813	4,050
	製造・サービス	556	872	782	1,060
	小売・消費財	707	660	923	1,140
コンサルティング・ペイメント	1,369	1,289	2,109	1,850	
海外 ^(*)	24,002	24,224	31,243	DC事業除き 26,700	

受注残高内訳詳細

受注残高 ^(*)		55,417	65,161	58,596	DC事業除き 42,630
再掲	日本	17,186	18,233	17,641	18,710
	公共・社会基盤	6,636	7,121	6,773	6,890
	金融	8,638	9,173	8,833	9,100
	法人	1,631	1,637	1,775	1,810
	海外 ^(*)	38,185	46,889	40,905	DC事業除き 23,740

(*) 2025年3月期予想の受注高及び受注残高には、データセンター（DC）事業の数値を含まない

（説明省略）

四半期情報 (連結)

■ 受注高



■ 売上高



■ 営業利益



(*) NTT Ltd.は、2023年3月期第3四半期より連結開始。売上高、営業利益は、2023年3月期第3四半期よりNTT Ltd.の値を含む。受注高は、2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む

(説明省略)

連結財政状態計算書

内訳項目は再掲表示

(単位：億円)

	2024年3月期 期末実績	2025年3月期 第3四半期実績	前期比 増減 (金額)
流動資産	24,330	27,975	+3,646
現金及び現金同等物	4,318	5,420	+1,102
売掛金及び契約資産	14,341	14,952	+611
棚卸資産	512	724	+211
売却目的保有資産	45	941	+896
非流動資産	47,865	50,007	+2,142
有形固定資産	19,144	20,968	+1,824
無形資産	6,937	7,113	+176
のれん	13,218	14,042	+824
その他の金融資産 (投資有価証券)	1,530	1,016	▲514
資産合計	72,194	77,982	+5,788
流動負債	25,139	29,826	+4,687
買掛金	4,598	4,298	▲300
契約負債	4,807	4,682	▲124
社債及び借入金 (流動)	7,558	12,500	+4,941
非流動負債	19,251	19,074	▲177
社債及び借入金	14,195	14,242	+47
リース負債 (非流動)	2,061	1,798	▲263
負債合計	44,390	48,900	+4,510
当社株主に帰属する持分	17,192	18,279	+1,087
非支配持分	10,612	10,803	+191
資本合計	27,804	29,082	+1,278
負債及び資本合計	72,194	77,982	+5,788
【再掲】有利子負債残高^(*)	21,753	26,741	+4,988

(*) 連結有利子負債残高の内訳(2025年3月期第3四半期実績)：通貨別ではドル建約50%・その他の外貨建約20%・円建約30%。変動・固定別では、全体の約50%弱が変動金利での借入

29

(説明省略)

データセンター事業（海外セグメント）の状況

■データセンター事業の収益等^{*1,*2}

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2025年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	前期比 (金額)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比 (金額)	
受注高	6,863	5,287	▲1,577	7,910			
受注残高 (会計期間末)	16,681	22,882	+6,201	18,551			
売上高	1,938	2,732	+793	2,703	3,021	+318	FY2027 EBITDA目標
EBITDA	731	973	+242	1,216 ^{*3}	1,170	▲46	1,900億円超
EBITDAマージン(%)	38%	36%	-	45% ^{*3}	39%	-	
営業利益 (本社共通コスト配賦前)	361	461	+101	679 ^{*3}			FY2023-FY2027 投資累計額
営業利益率(%)	19%	17%	-	25% ^{*3}			1.5兆円以上
投資額	2,523	2,480	▲44	3,905	4,010	+105	

	2024年3月期 期末実績	2025年3月期 第3四半期実績	前期比 (金額)
資産	21,988	25,401	+3,413
再掲) 非流動資産	17,508	19,204	+1,696
負債	18,521	20,317	+1,796
再掲) 有利子負債	14,515	15,350	+835

(*)1 データセンター事業の集計対象は、Global Technology Services Unitのデータセンター事業のみであり、一定の前提に基づき算定した数値を含む社内管理値 (非監査)
 (*)2 主にGlobal Technology Services Unitが行うデータセンター事業の数値
 (*)3 2024年3月期実績のEBITDA、営業利益の数値には、データセンター売却益156億円を含む
 これを除いた2024年3月期実績の、EBITDAマージンは約39%、営業利益率は約19%

■提供MW^{*2}

・全体の提供状況

(単位：MW)

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期計画	第3四半期実績 (4月～12月)
提供開始	約230	約380	約300
提供中 (会計期間末)	約1,120	約1,500	約1,420

・地域別の提供状況 (2024年12月末)

(単位：MW)

	North America	EMEA	India	APAC	合計
提供中	約640	約430	約290	約60	約1,420
計画中	約345	約220	約210	約85	約860

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

(説明省略)

The image shows the NTT Data logo, which consists of the text "NTT Data" in a white, sans-serif font centered on a solid blue rectangular background.

NTT Data

(説明省略)